月間報告書　2025年9月分

学籍番号　　留学先　マンハイム大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Intensivsprachkurs	サマーコース	4500	授業
2	Film - Geschichte, Theorie, Genre und Analyse	映画 － 歴史・理論・ジャンル・分析	360	授業
3	Allgemeiner Sprachkurs Deutsch A2.2	ドイツ語総合コース A2.2	270	授業
4	Mündliche Kommunikation Deutsch A2.2	ドイツ語会話 A2.2	270	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

8月はMannheim大学のサマーコースに参加し、ドイツ語の集中講座を受講しました。事前に受けたレベル分けテストではA2.2に振り分けられましたが、語彙力が不足していたため授業についていくのが難しいと感じ、A2.1に変更しました。レベル変更は、はじめのオリエンテーションでは3日目まで変更できるとのことでしたが、授業終盤になって変更している方もいたため、とても柔軟に対応してくれるところは大きな利点だと思います。先生によって教え方、テストの方式が全く異なるため自分にあった雰囲気のクラスで自分にあったペースで受けることができました。私のクラスは１０人前後で、てテストは毎週単語テストと、単元テストの2つがあったのでとても大変でしたが、定期的にテストがあることによって頑張り続けることができました。授業は月から金の9:00-13:30というスケジュールでややハードでしたが文法や会話を基礎から学び直す良い機会となりました。受講料は別でかかりますが、受けて良かったととても感じています。更に午後や週末にはハイキングやピクニック、レイクデイ、バーイベントなどのイベントが多く企画され参加を通じて多くの留学生と友人関係を築くことができました。語学力向上だけで無く異文化交流や人間関係の面でも非常に充実した経験となりました。

No.2

この授業ではドイツ語で、映画の成り立ちや発展の歴史について学びました。サイレント映画からデジタル3D映画までの技術的・表現的な変化を通して、映画がどのように進化してきたのかを理解しました。また、西部劇を題材に、映画ジャンルという概念がどのように社会や文化を反映しているかについても考察しました。映像表現が時代や価値観と深く関わっていることを学び、とても興味深かったです。

No.3

この授業では、A2.2レベルのドイツ語を学んでいます。文法・語彙・会話・リスニング・ライティングを総合的に練習し、日常生活や大学生活で使える表現を増やすことを目指しています。ペアワークやグループ活動も多く、実際に話す練習を通してドイツ語でのコミュニケーション力を高めることができました。先生はドイツ語のみで話しますが、クラスメイトが英語圏出身の人が多いためどうしてもグループワークの時には英語が増えてしまい、サマーコースに比べるとドイツ語に特化はしていないと感じています。

No.4

この授業では、日常生活で使うドイツ語の口頭表現を中心に学んでいます。自己紹介や買い物、旅行、大学生活など、身近なテーマで会話練習を行い、実際に使えるドイツ語の表現力を高めることを目的としています。ペアワークやロールプレイが多く、クラスメートとのコミュニケーションを通して自然な会話力を身につけられます。発音練習やイントネーションの指導もあり、リスニング力とスピーキング力の両方を鍛えることができる実践的な授業です。ドイツ語総合コースに比べると、先生が声を大にして英語禁止と言ってくれるので、ドイツ語のみで授業を行えています。さらにこのクラスで仲良くなった友達とは、普段もドイツ語で会話するような関係性を築くことができています。

Ⅲ．生活編

【8月】ドイツ到着後、鍵の受け取りでトラブルがあり、最初の三日間はホテルに滞在しました。その後無事鍵を受け取ることができましたが、ドアの建て付けが悪く業者を呼ぶ必要がありました。ドイツ語も英語もあまり話せなかったため、学校でできたアメリカ人の友達が電話をしてくれて無事に解決しました。部屋はとても広く風通しの良いあたり部屋でした。リビング、キッチン、トイレ、シャワーは共用ですが、実際は３人しか住んでおらず、みんな優しく仲が良いので、各々友達を呼んでご飯を食べたり、毎日異文化交流を楽しんでいます。Ulmenwegに住んでいるのですが、周りにスーパーが四つもある所や、市街地から少し離れているので静かで治安も良いのでおすすめです。留学生がたくさん住んでいます。ヘアケア用品はドイツが硬水のためこちらで購入しました。すぐに合うものが見つかりましたが、スキンケアはまだ合うものが見つからず試行錯誤しています。調味料は日本から持っていきて大正解で、マンハイムには二つアジアスーパーがありますが、価格が三倍以上するので節約になりました。お米はドイツのMilchreisで代用していますが、すごく日本のお米と似ていて、結構活用しています。また日本食を作れるととても喜ばれ、人気者になれます！幸運なことに日本好きな現地の方が多く、パディーパートナーや新しくできた友達と午後は一緒にお出かけしたり、勉強したり、ご飯を作ったり、充実した日々を送れています。この１ヶ月でドイツ語も英語もかなり成長したと感じています。D-ticketという１ヶ月ドイツ国内の電車バストラムが約10000円くらいで乗り放題というものがあるので、ドイツに着いたらすぐ買うことをお勧めします。八月はD-ticketを活用して、観光地巡り、サッカー観戦、コンサート、ルクセンブルクなど様々なところに出かけました。

【九月】9月から学部の授業が始まり、大学全体が活気にあふれるようになりました。学期の初めにはウェルカムパーティーも開かれ、多くの学生と出会うことができました。午前中に時間の余裕ができたため、ランニングをしたり、自習や自炊に取り組んだりと、生活のリズムが安定してきました。趣味の時間も増え、より自分らしい過ごし方ができるようになったと感じています。Mannheimでは9月は雨や曇りの日が多く、気温も一気に下がり、夜はダウンを着る日がありました。天気がすっきりしない日が続きましたが、その分、部屋でゆっくり過ごしたりと落ち着いた時間を楽しむことができました。また、新しいフラットメイトが2人増えました。ドイツ人の女の子で、積極的に話しかけるように心がけています。とても優しくドイツ語を教えてもらっています。ちょうど2人とも誕生日だったため、誕生日会を2回開き、それぞれの国の料理やケーキを作り合うなど、とても楽しい異文化交流の時間になりました。生活にもだんだん慣れてきて、心に余裕が生まれ、旅行に出かける機会も増えました。授業や友人との交流を通して、ドイツ語力や異文化理解が少しずつ深まってきていると感じます。全体的に充実した一か月を過ごすことができました。

月間報告書　2025年10月分

学籍番号　　留学先　マンハイム大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Film - Geschichte, Theorie, Genre und Analyse	映画 ー 歴史・理論・ジャンル・分析	360	授業
2	Allgemeiner Sprachkurs Deutsch A2.2	ドイツ語総合コース A2.2	360	授業
3	Mündliche Kommunikation Deutsch A2.2	ドイツ語会話 A2.2	360	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

この月は、映画の表現技法の基礎として、ミザンセーヌ（画面構成）やモンタージュ（編集）といった映画の構成原理について学びました。映像の構図やカメラの配置、編集の仕方が、観客の理解や感情にどのような影響を与えるのかを、具体的な映画例を用いて分析しました。また、表現主義・ネオレアリズモ・ヌーヴェルヴァーグといった映画運動の特徴を学び、映画が時代背景や社会思想と強く結びついて発展してきたことを理解しました。

No.2

10月は、A2.2レベルの文法として、助動詞や話法の助動詞（Konjunktiv II）を学び、丁寧な依頼や希望の表現ができるようになりました。また、Eメールの書き方を練習し、職場や大学で使える実用的な文章表現を身につけました。仕事や職場をテーマにした語彙も増やし、実生活に即したドイツ語を学びました。

No.3

10月は、日常生活や職場をテーマに、話す練習を多く行いました。丁寧な依頼、提案、希望の言い方を学び、ロールプレイを通して実際の会話場面を想定した練習をしました。自分の考えを簡単なドイツ語で伝える力が向上しました。

Ⅲ．生活編

10月は、ドイツでの生活が本格的に安定し始めた月でした。滞在許可証を無事に取得でき、これからの留学生活を安心して送れるようになりました。外国人局での手続きはすべてドイツ語だったため緊張しましたが、実生活の中でドイツ語を使う良い経験にもなりました。

学業面ではテストやプレゼンテーションが多く、忙しい日々が続きました。準備や復習に追われながらも、ドイツ語で発表したり課題に取り組んだりする中で、自分の成長を感じることができました。

また、10月は気温が下がり始め、寒い日も増えました。すでにダウンを着る日もあり、日本との気候の違いを実感しました。季節の変化を感じながら、ドイツでの生活に慣れていった一か月でした。

月間報告書　2025年11月分

学籍番号　　留学先　マンハイム大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Film - Geschichte, Theorie, Genre und Analyse	映画 ー 歴史・理論・ジャンル・分析	360	授業
2	Allgemeiner Sprachkurs Deutsch A2.2	ドイツ語総合コース A2.2	360	授業
3	Mündliche Kommunikation Deutsch A2.2	ドイツ語会話 A2.2	360	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

11月は映画理論を中心に学びました。映画がなぜ独自の芸術形式として成立しているのかを、物語構造、映像表現、観客との関係性といった観点から理論的に考察しました。また、映画が現実を単に再現するのではなく、選択・編集・演出によって意味を作り出すメディアであることを理解しました。さらに、映画における感情操作や物語の説得力についても学びました。

No.2

この月はドイツの学校制度や進路（職業訓練と大学進学）をテーマに学習を進めました。読解・会話・ディスカッションを通して、ドイツの教育制度について理解を深めるとともに、自分の意見をドイツ語で述べる練習を行いました。また、過去形や文の構造についても復習し、より正確に表現できるようになりました。

No.3

11月は「進学か職業訓練か」といったテーマでディスカッションを行い、意見交換を通して会話力を伸ばしました。文法を意識しながら話す練習を重ね、より長い文で自分の意見を説明できるようになりました。

Ⅲ．生活編

11月も学業面ではプレゼンテーションや小テストが続き、忙しい日々でした。課題や発表の準備に追われながらも、ドイツ語で自分の考えを伝える機会が増え、少しずつ慣れてきたと感じました。

生活面では、日本から持ってきた調味料を使って自炊を続けながら、現地のスーパーで売られているスープの素やカップパスタなども試し、ドイツの食材を使った料理を楽しみました。日本の味とドイツの食品を組み合わせることで、食生活にも変化が出てきました。

また、11月は日照時間が短くなり、気分が沈みがちな日もありましたが、気分転換としてランニングを積極的に行い、体調管理を心がけました。寒さが厳しくなってきて、寒いのがとても苦手な私にとって大変でした。

月間報告書　2025年12月分

学籍番号　　留学先　マンハイム大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　4年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Film - Geschichte, Theorie, Genre und Analyse	映画 ー 歴史・理論・ジャンル・分析	270	授業
2	Allgemeiner Sprachkurs Deutsch A2.2	ドイツ語総合コース A2.2	180	授業
3	Mündliche Kommunikation Deutsch A2.2	ドイツ語会話 A2.2	180	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

12月は映画音楽に焦点を当て、映像と音楽の関係について学びました。無声映画の伴奏音楽から現代の映画音楽までの発展をたどり、音楽が登場人物の感情や物語の緊張感をどのように強めているかを分析しました。最終回では、映画における音楽の機能と表現効果を総合的に振り返り、映画を音と映像の両面から理解する視点を身につけました。最終テストはかなり難しかったです。

No.2

12月は試験対策として、これまでに学んだ文法や語彙を総復習しました。関係代名詞や従属節など、文章をより複雑にする表現を使って、読解と作文の力を高めました。最終テストは先生の都合で無くなりました。

No.3

12月は発表やスピーキングテストに向けて、プレゼンテーション形式で話す練習を行いました。テーマに沿って自分の意見をまとめ、相手に伝える力が向上しました。ドイツ語で話すことへの自信が大きく高まりました。最後の授業はお菓子やドリンクを持つよってお別れパーティーをしました。この授業の先生はとても私に合っていてお別れが悲しかったです。

Ⅲ．生活編

12月は留学期間最後の月で、月の初めに大きなテストがあり緊張したスタートとなりましたが、試験が終わってからは気持ちに余裕ができ、残りの滞在を前向きに楽しむことができました。

この時期はクリスマスマーケットが本格的に始まり、ドイツランドチケットを使って各地を訪れました。さまざまな街のマーケットを巡り、マグカップを集めるなど、ドイツの冬ならではの文化を体験することができました。マンハイムのクリスマスマーケットも規模が大きく、多くの人でにぎわっており、街の活気を感じることができました。また、近郊ではバーデンバーデンのクリスマスマーケットも訪れ、雰囲気の良さが印象に残りました。

寒さと日照時間の短さで気分が下がる日もありましたが、お別れパーティをしたり、ドイツの冬の生活を実際に体験しながら、この留学を締めくくる貴重な時間を過ごすことができました。